

8月18日 平成28年度菊池市子ども議会
中学生が質問! まちづくりを学びました

市議会議場などを会場に菊池市子ども議会（議長・小佐田響さん・菊池南中3年）がありました。市内5中学校の代表21人が子ども議員の委嘱を受け、学校生活や日常生活で感じていることを市執行部に問いかけてきました。本会議では、プラチナ未来人財育成塾参加者による研修報告、子ども議員書記による委員会報告、子ども議員委員長による代表質問が行われました。



委員会報告を行う子ども議員

8月27・28日 24時間テレビチャリティー募金
きくち観光物産館でチャリティー活動

24時間テレビ「愛は地球を救う39」のチャリティー募金がきくち観光物産館であり、菊池市ボランティア連絡協議会の会員（2日間で延べ14人）が来店者に募金を呼びかけました。この活動はきくち観光物産館が毎年行っているチャリティー活動で、同協議会の皆さんが協力しています。参加したボランティアは「ことは震災を経験し、特にありがたく感じる」と話しました。



募金を受け付けるボランティア

9月3日 第17回きくち市民フォーラム
熊本地震や東日本大震災に学ぶ

第17回きくち市民フォーラムが西部市民センターで開催されました。女性防災士の柳原志保さんが講演し、一人一人立場や思いが違うことを共有するため、参加者全員でクロスロードゲームを行いました。

参加者は災害時に役立つパーソナルカードの準備やあるものを利用する知恵、日頃からの備えや習慣づけの必要性、男女で違う災害時のリスクなどについて学びました。



柳原さんの講演

7月22日 部落解放同盟旭志支部
旭志支部人権夏祭り2016

部落解放同盟旭志支部主催の人権夏祭りが開催され、多くの来場者でにぎわいました。会場は青年部や女性部、解放子ども会による出店が軒を連ね、ステージでは「人権バンド ゆう」のコンサートやカラオケ大会、抽選会などが行われ、大いに盛り上がりました。今回の夏祭りには大津支部や甲佐支部からも参加があり、「部落差別解消法」の制定へ向け、さらなる団結を図りました。



ステージイベントを楽しむ来場者

8月19日 第51回産経民謡大賞
岩永さんが民謡全国大会で初優勝

岩永生男さん（木柑子）が7月、大阪市で開催された第51回産経民謡大賞の健声の部（70歳以上）で初優勝を飾りました。8回目の出場で、今回は自作曲「菊池川筏流し唄」を披露し、同部最終選考に残った114人の頂点に立ちました。岩永さんは「生まれ故郷の阿蘇も地震で大きな被害を受けた。今度は阿蘇を応援する歌をつくってさらに上の賞を狙い、被災地に元気を届けたい」



左から妻の三枝子さん、江頭実市長、岩永さん

8月27・28日 学童・少年軟式野球大会
野球少年が熱戦を繰り広げました

熊本県トラック協会菊池支部協賛・菊池市軟式野球連盟主催による平成28年度市会長旗争奪学童・少年軟式野球大会が、菊池公園多目的グラウンドで開催されました。大会には市内の学童の部に9チーム、少年の部に4チームが出場。2日間にわたり熱戦を繰り広げました。大会結果は次のとおりです。

- 【学童の部】優勝 隈府クラブ
- 【少年の部】優勝 菊池南中学校



①優勝した菊池南中学校と準優勝の旭志・泗水中学校
②優勝した隈府クラブと準優勝の旭志小学校野球部

8月3日 人形劇グループ「座・まりあ」
支え合って20年「座・まりあ」記念講演会

7人の市民でつくる人形劇グループ「座・まりあ」（樋川久美子代表）の結成20周年記念講演会が西部市民センターで開催され、親子連れなど約80人が紙芝居や人形劇を観劇しました。7人は元菊池聖母幼稚園の保護者仲間で1995年にグループを結成。樋川さんは「楽しかったら続けようと思えば20年経っていた。これからも仲間と支え合い楽しみながら続けていきたい」



人形劇グループ「座・まりあ」の皆さんと劇を鑑賞した子どもたち

8月8日 第29回子ども囲碁将棋大会
大人顔負け! 子ども囲碁・将棋大会

子ども囲碁・将棋大会が旭志公民館で行われ、市内の小学生13人により白熱した対局が繰り広げられました。囲碁の部は参加少数により不成立となりました。成績は次のとおりです。（敬称略）

- 【将棋の部】優勝 石口閃理（泗水小6年）
- 2位 松岡怜（菊之池小6年）
- 3位 三宅仁介（泗水東小6年）
- 敗者戦優勝 安藤大輝（泗水東小3年）



参加した子どもたちと指導者の皆さん

8月10日 菊池市災害支援ネットワーク協議会
効率的な災害復興支援を目指して

菊池市災害支援ネットワーク協議会の設立総会が七城リバーサイドパーク木の交流館で開催され、設立趣旨に賛同する42団体の代表者が参加しました。総会では同協議会の会長に菊池市社会福祉協議会の池田一男さんを選出。多様な構成団体がそれぞれの得意分野を生かしながら連携し、熊本地震の災害復興や支援活動、地域活性化活動などに取り組んでいくことが採択されました。



設立総会に参加する各団体の代表者

7月24日 旭志くらだけ友の会
上手に染まるかな? 藍染体験会

旭志くらだけ友の会（古津理恵会長：会員339人）主催の藍染体験会が旭志公民館で開催され、親子連れなど約60人が世界に1枚だけのオリジナル藍染ハンカチ作りにチャレンジしました。参加者は「自分で作った絞りの模様がきれいに染まって楽しかった」「ハンカチを液から出して空気に触れさせると、色が変化していくのが不思議で、とてもおもしろかった」と笑顔で話しました。



きれいに染まったハンカチを手に笑顔を見せる参加者たち

8月7日 熊本県学校茶道部会合同お茶会
伝統作法に触れました

第14回表千家学校茶道部合同お茶会が、学生や一般を対象に熊本市白川公園お茶室で催されました。お茶会には376人が参加。本市からは公民館生涯学習講座「親子お茶教室」の生徒19人が参加しました。

表千家の作法を学んでいるお茶教室の子どもたちは、和室、立礼席で凛とした姿を見せながら抹茶を満喫。歴史ある建築物で、伝統ある作法の一端に触れていました。



旭志親子お茶教室の子どもたちと先生

8月10日 菊池川漁業協同組合
ウナギの稚魚の放流

菊池川漁業協同組合（江藤俊男組合長）が、泗水町内を流れる合志川6カ所でウナギの稚魚を放流しました。放流されたのは、生後6カ月、体長15センチに成長した約6千匹ニホンウナギの稚魚。同組合は毎年アユの稚魚なども放流しており、漁業資源の保護に取り組んでいます。

同組合理事の北田彰さんは「魚をおして川に親しみをもって欲しい」と話しました。



放流されたウナギの稚魚は元気いっぱい泳いでいました